

「地いきや生活のうつりかわり」

指導目標	◎地域の人々の生活について、古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていたころの暮らしや様子について見学調査したり、年表にまとめたりして調べ理解し、人々の生活の変化や人々の願いを考え、表現する。
公共交通を教材とする利点	地域や人々の生活の移り変わりを学習する中で、現在の生活では身近な乗り物である電車やバスを単元に盛り込むことで、道具の変化によって自分たちのまちがどのように変化したのかを理解できる。
対象学年	3年生
対応教科	社会科
標準校時	14コマ
学習構成	<p>1. 昔の人はどんな道具を使っていたのだろう</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔の道具当てクイズをし、今の道具と昔の道具を比べる。 <p>2. 昔の道具はどのように変化した、くらしはどう変わってきたのだろう</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと館を見学し、昔の道具の使い方や使いやすさや考え、昔の人はどのようにくらししていたか考える。 ・道具がどのように変化した、今のくらしに変わっていったかを調べ、年表にまとめる。 <p>3. 昔の生活の工夫や移り変わりを話し合おう</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年表をもとに、人々がくらしをより良くしようと願って、道具が変わり、便利になったことで、くらしも変わったことを話し合う。 <p>4. 地域や市はどのように変わってきたのだろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちのまちが昔はどんな様子で、電車やバスが通るようになって便利になり、多くの人々が住むようになるなど、どのように変わっていったかを知る。 ・市も同様に変化してきたことを知る。 ・これからの自分たちのまちについて考える。

【学習指導案】

社会科学習指導案

指導者 河村 圭祐

1 日 時 平成30年2月23日(金) 第5校時(13:50~14:35)

2 学年・組 第3学年2組(25名)

3 場 所 3年2組教室

4 単元名 地いきや生活のうつりかわり 「昔を伝えるもの」

5 単元の目標

地域の人々の生活について、古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていたころの暮らしや様子について見学調査したり年表にまとめたりして調べ理解し、人々の生活の変化や人々の願いを考え、表現する。

6 単元の評価規準

【社会的事象への関心・意欲・態度】

①古くから残る暮らしにかかわる道具やそれらを使っていたころの暮らしの様子に関心をもち、見学や調査活動を通して地域の人々の暮らしの変化について意欲的に調べている。

②道具・暮らしの変化や人々の知恵や願いと自分たちの生活とのかかわりを考えようとしている。

【社会的な思考・判断・表現】

①地域の人々の暮らしの変化について学習問題や予想、学習計画を考え記述している。

②古い道具を使っていたころと今の暮らしの違いや変化、人々の暮らしの知恵を考え、わかりやすく説明している。

【観察・資料活用の技能】

①古い道具の使い方を体験したり、博物館などで昔の暮らしの様子を聞き取ったりして、地域の人々の暮らしの変化について必要な情報を集めて読み取っている。

②調べたことを年表や作品などにまとめている。

【社会的事象についての知識・理解】

①古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていたころの暮らしの様子を理解している。

②地域の人々の暮らしの変化が人々の願いや知恵によるものであることを理解している。

7 単元について

(1) 児童について

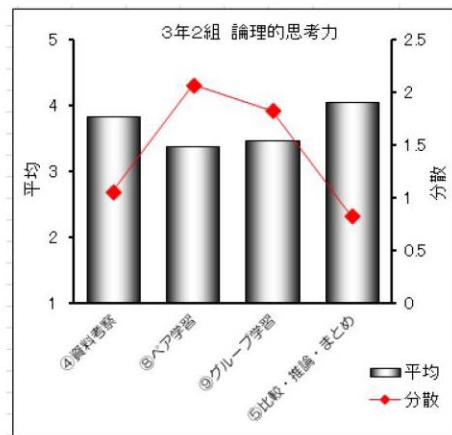
社会科の授業に対し、多くの児童は前向きに取り組むことができている。6月に実施した授業アンケートでは、以下のような結果が数値として表れた。(表の数値は人数を表す)

	楽しくない (思わない)	あまり楽しく ない	どちらでもない わからない	やや楽しい	楽しい (思う)
① 授業	0	3	12	14	20
② 学習問題をつくる	1	5	11	15	17
⑩ クラス全体で話し合い、深める	3	7	9	14	16
③ 将来役に立つ	3	2	4	13	26
④ 資料について考える	1	5	10	17	15
⑧ ペアで相談し合う	3	8	7	13	18
⑨ グループで話し合い、深める	5	4	8	15	17
⑤ 比べたりまとめたりして考える	0	4	13	12	20
⑥ 自分の考えを説明する	2	10	10	13	13
⑦ 友達の考えを知る	1	2	12	14	19

このアンケートによると、「社会科の授業は好きか」という質問に対し、学年の児童49人の内、楽しい20人・やや楽しい14人・どちらでもない12人・あまり楽しくない3人ということから、7割以上の児童が社会科の授業を好きと答えている。設問3の「将来の役に立つと思うか」にあるように、約8割の児童が社会科の授業は役に立つと考えている。また、設問2、4についてあるように7割の児童が学習問題を作ったり、資料について考えたりすることは楽しいと感じている。しかし、設問6「自分の考えを説明する」の回答を見ると楽しくないと感じている児童の割合が増えている。また、設問10「クラス全体で話し合い、深める」や、設問8「ペアで相談しあう」でも楽しく感じていない児童の割合も増えている。このことから、授業や学習問題を作ることは楽しいが、友だちと考えを伝えあったり、クラスで問題について話し合っ深めていったりすることに課題があると考えられる。

前述の課題を受け、3年生では、社会科の学習を以下のように進めてきた。

◆児童が安心して話し合うことのできる場作り



上記のグラフは各クラスのアンケート結果である。上記にあるように2組では、ペア学習・グループ学習について苦手意識を持つ児童がいる。そこで、まず基本的な「話す・聞く」ことのルールを徹底するようにしている。話す時には、聞く相手を見て、最後まで話す。聞く時には話す相手を見て、話す人が安心して話せるように聞く。ペア学習やグループ学習では、話すことを明確にして全員が話し合いに参加できるようにしてきた。また、ペア学習では、自由交流をしてクラスの中のたくさんの人と意見交流するようにして、ペア学習に対する抵抗感をなくすようにしてきた。

◆児童が考えてみたくなるような導入

児童にとっては初めての社会科である。社会科の学習を児童が主体的に考えてみたいと思って進められるように、毎回の授業の際には社会的事象との出会いを大切に、児童が解決したくなる問いをつくってきた。例えば「わたしたちの京都市」で、四条あたりにはどんな特長があるのか調べた時には、まず、岩倉北小学校から四条までどうやって行けるか、何分くらいで行けるかについてのプレゼン資料を見せた。次に、実際の四条の動画を見せると、「ここ知ってる！」「行ったことある！」という反応が得られた。このようにこれから学習することに対して、児童が身近に感じられるようにしてきた。

◆児童が活用したくなる資料の工夫

アンケートにもあるように多くの児童が資料から情報を読み取ることに意義を感じている。しかし、資料から考えることが苦手と感じている児童もいるので、できるだけ分かりやすい資料を用意するようにしてきた。また、複数の資料を読み取ることで、少しずつ資料と資料をつなげて読み取れるようになってきた。さらに読み物資料を黒板に掲示することで、分かったことの資料を差し示しながら説明することも少しずつ出来るようになってきた。3年生の発達段階に応じて、児童が主体的に筋道を立てて考えられるような資料を準備していきたい。

【単元構想】

(2) 主体的な学びをつくる単元構想

単元構想図 昔をつたえるもの (全14時間)

であ
う・
つか
む
(1
時間)

① 昔の道具当てクイズをし、今の道具と昔の道具を比べよう

- ・ テレビもなく、ラジオを聞いていたそうだ
- ・ 今の洗濯機と形が違うと聞いていたよ
- ・ 暖房はコタツとストーブだったらしい

昔の人はどんな道具を使っていたのだろう

- ・ きっと不便だったのじゃないかな
- ・ この道具はどうやって使うのかな

②③ふるさと館を見学したり、洗濯板を使い昔のことについて考えたりしよう

- ・ 洗濯板の使い方がよくわかった
- ・ 洗い終わるまでとても時間がかかるね
- ・ 洗濯板にはたくさん工夫があるのだね

④洗濯板を使ってわかったことから話し合おう

- ・ 洗濯板を使うととてもきれいになった
- ・ 手が冷たかった
- ・ いろいろ洗濯板から洗濯機にかわったのだろう⑤
- ・ 他にどんな道具を使っていたのだろう⑥
- ・ 昔の人はどのような暮らしをしていたのだろう⑧

調
べる
(8
時間)

昔の人々はどのように暮らし、どのように今の暮らしにかわってきたのだろう

⑤洗濯板はどのように変化していったのだろう

- ・ どんどん使いやすくなっているね
- ・ それぞれに昔の人の知恵や工夫があるんだね
- ・ 他の道具はどうかかな

⑥料理をする道具はどのように変化していったのだろう

- ・ 七輪を使うとおいしく焼けるね
- ・ 調理する時間が短くなったのだね
- ・ テレビを見ている時間がないよ

⑦昔の遊びはどのような変化をしていったのだろう

- ・ 体を使う遊びが多かったのだね
- ・ 自然のものを使った遊びが多いね
- ・ 今はゲームなど機械が多いね

⑧⑨調べたことを年表にまとめ、暮らしについて話し合おう

ま
と
め
る
(1
時間)

⑩年表をもとに、昔の生活の工夫や移り変わりについて話し合おう

○つくった年表

- ・ 昔は、一つのことには時間をかけて生活していた
- ・ 道具が変わってきたことで、人々の暮らしも変わってきた

昔は使えるものをむだなく使うなど、道具を工夫して使っていたが、道具が進化することで時間や手間がかからなくなってきた。道具は便利になってきているが昔の道具にもたくさんいいところがある。

向き合う
(4時間)

⑪岩倉は昔どんな様子だったのだろう

- ・岩倉は60年前、畑や田んぼばかりだったのだね。・今も自然は多いから同じところもあるね。
- ・神社は昔からあったのだね。・今は大学やお店も多くあるね
- ・電車やバスも通っているね。

・岩倉はどのように変わっていったのかな⑫

⑫岩倉はどのように変わっていったのだろう

- ・宝ヶ池通りができたことがきっかけなのだね
- ・住む人が増えてきたから岩倉北小学校もできたのだね
- ・道が便利になることで住む人も増えてきたのだね
- ・バスも通るようになってより便利になったのだね
- ・岩倉以外でも同じようなことがあったのかな⑬

⑬京都市の様子はどのように変わっていったのだろう

- ・同じ時期に向島や洛西でも人が増えてきたのだね
- ・京都市にたくさんの人が住むようになったのだね
- ・電車やバスが通るようになってより便利になったのだね
- ・岩倉ももっと便利になったらいいのにな⑭

道具の変化によって、人々の暮らしは変わってきた。また地域の様子や市の様子も時間の経過とともに移り変わっていった。

⑭岩倉のこれからについて考えよう。

- ・便利になればなるほどいいのかな
- ・岩倉の自然も大切にしたいな
- ・家が増えると自然はなくなっていくのかな
- ・自然を守っていくためにはどんなことをすればいいのかな
- ・自分たちの地域がよりよくなっていくようにできることをしたいな

(3) 論理的思考力を働かせる場づくり

①学ぶ意欲を高める工夫

本単元は子どもたちにとって身近ではない内容となる。しかし昔の道具は子どもたちにとってめずらしく学ぶ意欲も高まりやすいと考えられる。「であう・つかむ」の場面では、昔の道具と今の道具を関連付けるクイズをして、道具の系統性に気づくようにする。そうすることで子どもたちの中に、昔の道具は今の道具とつながっているという意識が生まれ自分たちの生活に結びつけて考えることができる。また、昔の道具を見ることも初めてだという児童も多いと考える。そこで実際に昔の道具を使ってみる時間を設定する。そうすることで、児童一人一人が昔のくらしの疑似体験をし、問いを見つけることができ、学ぶ意欲も高まると考える。

②単元で働かせたい論理的思考力とは

本単元では、以下のような「論理的思考力を働かせている姿」、「そのための指導等」を考えている。

◆問題解決に向かって自分の意見を構築する

「つかむ・調べる」の場面では、昔の道具の工夫やくらしについて自分なりの意見をもつことができるようにしたい。そのためには生活経験や体験が必要になる。そこで、昔の道具

の写真を提示したり、一度使ってみることで今まで意識して見なかったところまで視野を広げられるようにしたりする。

◆根拠を示しながら、自分の考えを話す

体験した昔の道具の工夫や道具の移り変わりなどを、資料をもとに根拠を示しながら話し合うことができるようにしたい。そのためにはまずノートにしっかり体験したことや聞いたことをメモする力が必要である。そこで、どの児童にとっても分かりやすい体験カードを用意する。また、説明するための道具の写真や道具の年表、前時までの学習の足跡としての掲示を用意し、子どもたちがそれを使って話し合えるようにしたい。また「深める」の場面では、岩倉の歴史年表や岩倉の人口増加のグラフなど具体的な資料をもとに根拠を示しながら話し合えるようにしたい。

◆調べたことから分かった事実を「つなげて」「比べて」「関連づけて」考えを深める

「調べる」の場面では、昔の道具などから分かったことをグループやクラス全体で出し合った中で、つながるものや関連づけられるものを考えることができるようにしたい。そのために、それぞれの道具のよさをまとめておく必要があると考える。そこで、指導者が子どもたちからでた道具の工夫をまとめて板書することが必要であると考え。またそれぞれの工夫を掲示として残しておきたい。

単元のまとめの部分では、昔の道具のよさや道具の移り変わり、くらしの移り変わりを理解できるようにしたい。そのためには、単元のはじめに今の道具のよさを明らかにしたり、昔の道具の体験を通してよさを見つけたりして、それらを子どもたちに見える形で残しておく必要がある。そこで、「つかむ」の最初の場面で、用意する資料を「洗濯するもの」「調理するもの」など視点を絞って用意する。また、単元を通して一つの年表が完成していくような掲示の仕方をしたい。また、「深める」の場面では岩倉の人口増加のグラフを関連づけて考えることで、岩倉の移り変わりについて考えを深められるようにしたい。

(4) 焦点化指導の充実

焦点化指導の充実として、1つ目は教材や追究したいと思える問いが生まれるような、社会的事象との出会いを大切にしていきたい。具体的には児童の一人一人が「なぜ」や「どのように」と思えるような導入の資料を準備して、問題意識を高め学習を進めていきたい。そのために本単元では、昔の道具だけでなく今の道具について考えるようにし、昔のくらしを身近に感じさせるようにしたい。

2つ目は児童一人一人が活躍することのできる学習形態の工夫である。日々の授業の様子を見ると、自分の意見を相手に伝えることに自信をもていない児童が多い。また、友だちの意見を聞いてそこから考えるということが難しい。しかし、やる気のある児童は多いので、分かりやすい資料を用意したり、ペアやグループなど子たちにとって話しやすい環境を作ったりしていきたい。資料から分かることをつなげて考えるよう話し合う視点を明確にしたり、グループ発表など発表方法に工夫を加えたりすることで、児童が主体的に話し合い、全体での交流や問題解決できることにつなげていきたいと考えている。

8 単元の指導と評価の計画 (全14時間 本時 12/14)

過程	目標 (○数字…時数)	主な学習活動 (○発問 ◇指示 ・児童の反応) 論理的思考力を働かせる場	教師の指導・評価 □支援 資料 【】評価 論理的思考力の見取り
であ う・ つか む	① 昔の道具当てクイズをし、今の道具と昔の道具を比べる。	○今の道具と昔の道具の写真です。目的が同じなのはどれとどれですか。 ・この板は汚れをとるものだと思います。 ・これは網があって何かを焼くものなのでIHクッキングヒーターと同じだと思います。 ・でも使い方がわからないよ。	□昔の道具の写真だけでなく、今の道具の写真を掲示することで児童が用途を類推できるようにする。 【関心・意欲・態度①】 昔の道具について関心を持ち意欲的に話し合っている。 (発言・ノート)
昔の道具はどのように変化し、くらしはどう変わってきたのだろう。			
調 べ る	② 洗濯板を使いよさや昔のことについて考える。 ③ 七輪を使いよさや昔のことについて考える。	◇洗濯板を見て、使い方を話し合おう。 ・いつごろ使ったのかな。 ・線が入っているよ。 ◇洗濯板を使ってみましょう。 ・洗濯板の使い方がわかったよ。 ・洗い終わるまでとても時間がかかるね。 ・洗濯板にはたくさんの工夫があるのだね。 ◇七輪を使ってみましょう。 ・煙が目にしみるね。 ・七輪を使うと美味しく焼けるね。 ・テレビを見ている時間がないよ。 ・テレビはなかったのじゃないかな。	□洗濯している場面の写真を掲示することで、予想の足がかりとする。 【関心・意欲・態度①】 洗濯板の使い方を調べ、実際に洗濯することで昔の道具のよさを感じとっている。 (行動・ノート) 【関心・意欲・態度①】 七輪の使い方を調べ、実際に洗濯することで昔の道具のよさを感じとっている。 (行動・ノート)

<p>④ 洗濯板を使って分かったことから、学習問題をつくる。</p>	<p>◇洗濯板と七輪を使った感想をもとに話し合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手が冷たかった。 ・洗濯板を使うと、よく汚れが落ちました。 ・時間がかかった。 ・昔の人は大変だったのかもしれない。 <p>○今はどんなくらしですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボタン1つで機械が動くから楽だと思います。 ・昔に比べて便利になったと思います。 <p>論</p> <p>○年表でわかっていないところはどこですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔のくらしがわからないな。 ・道具はどんな風が変わってきたのかな ・道具が変わってきたのだからくらしも変わってきていると思う。 	<p>□ 体験したことを整理して話せるようにノートを基に話し合うようにする。</p> <p>□ 洗濯板と洗濯機の写真を離して掲示することで変化していったということに気づけるようにする。</p> <p>論 それぞれの道具の変化を考えると暮らしの変化にまで目を向けることができる。</p>
------------------------------------	---	---

昔の人々はどのようにくらし、どのように道具が変わってきて、くらしがかわってきたのだろう。

<p>⑤ 洗濯板はどのように変化していったのか考える。</p>	<p>◇予想したことを話し合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道具がだんだん便利になってきたからくらしも楽になってきたのだと思います。 <p>◇洗濯板はどのように変化していったのか話し合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんどん使いやすくなっているね。 ・それぞれに昔の人の知恵や工夫があるのだね。 ・他の道具はどうなのかな。 	<p>【思考・判断・表現①】 人々のくらしの変化について学習問題や予想を考え記述している。 (発言・ノート)</p> <p>□変化がわかるように、それぞれの洗濯道具についての<u>写真</u>を移り変わった順に掲示する。</p> <p>【知識・理解①】 洗濯道具やそれを使っていた頃のくらしの様子を理解している。 (発言・ノート)</p>
---------------------------------	---	---

まとめる	⑥ 調理器具について調べる。	◇調理器具はどのように変化していったのか話し合おう。 ・調理する時間が短くなっていったのだね。	□変化がわかるように、それぞれの調理器具についての <u>写真</u> を移り変わった順に掲示する。 【知識・理解①】 調理器具やそれを使っていた頃のくらしの様子がわかっている。 (発言・ノート)
	⑦ 昔の遊びについて調べる。	◇遊びがどのように変わってきたのかを調べよう。 ・体を使うものが多かったのだね。 ・今でもする遊びもあるよ。 ・自然のものを使う遊びが多いね。 ・今はゲーム機が多いね。	□変化がわかるように、それぞれの遊びについての <u>写真</u> を移り変わった順に掲示する。 【知識・理解①】 昔の遊びやそれをしていた頃のくらしの様子がわかっている。 (発言・ノート)
	⑧ 調べたことを年表にまとめる。	◇調べたことをもとに昔の暮らしについて話し合い年表にまとめよう。	【技能②】 調べたことを年表にまとめている。 (発言・ノート)
	⑨ くらしについて話し合う。	◇くらしについて話し合おう。 ・七輪や洗濯板を使っていたころは、一つ一つのことにとっても時間がかかっていたのだね。 ・今は機械でほとんどできるよ。 ・昔は不便だと思っていたけど楽しい遊びもいっぱいあったのだな。	【技能①】 古い道具の使い方を体験したり、年表を見たりして、人々の暮らしの変化について必要な情報を集めて読み取っている。 (発言・ノート)
	⑩ 年表をもとに、昔の生活の工夫や移り変わりについて話し合う。	○年表をもとにわかったことを話し合おう。 ・道具が変わったことで人々のくらしも変わってきたのだね。 ・機械のものが増えて家事をする時間が減ってきたのだね。 ・便利になったけど、昔の道具にもいいところがたくさんあったね。	□ <u>学習内容を踏まえた年表</u> を掲示し、道具とくらしのつながりやそれぞれの変化が理解できるようにする。 【知識・理解②】 人々のくらしの変化が人々の願いや知恵によるものであることを理解している。(発言・ノート)

向き合う		<ul style="list-style-type: none"> ・くらしをよりよくしようと願って、道具が変わってきたことがわかるね。 	
	<p>昔は使えるものを無駄なく使うなど、道具を工夫して使ってきたが、道具が進化することで時間や手間がかからないようになってきた。道具は便利になってきているが昔の道具にもたくさんいいところがある。</p>		
	<p>⑪岩倉は昔どんな様子だったのか知る。</p> <p>⑫岩倉の様子はどのように変わっていったのか考える。</p> <p style="text-align: center;">本時</p> <p>⑬京都市の様子はどのように変わっていったのか調べる。</p>	<p>○昔の道具を使っていたころの岩倉はどんな様子だったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今よりもっと自然が多かったのだね。 ・田んぼや畑ばかりだったのだね。 ・住んでいる人は農家ばかりだね。 ・神社は変わらずにあるのだね。 <p>○岩倉の様子はどのように変わってきたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宝ヶ池通りができて、道が通りやすくなったのだね。 ・国際会議場ができて場所が有名になったのだね。 ・道が便利になって住む人も増えてきたのだね。 ・住む人が増えてきたから岩倉北小学校ができたのだね。 <p>○京都市の様子はどのように変わっていたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩倉に人が増えてきた時期に向島でも人が増えてきたのだね。 ・電車やバスが通るようになってより便利になったのだね。 ・京都市にたくさんの人が住むようになったのだね。 	<p>【知識・理解①】 岩倉の昔の様子について理解している。 (発言・ノート)</p> <p>【思考・判断・表現②】 グラフをもとに岩倉の様子の変化について表現している。 (発言・ノート)</p> <p>【技能①】 グラフをもとに京都の様子について読み取っている。 (発言・ノート)</p>
<p>道具の変化によって、人々の暮らしは変わってきた。また地域の様子や市の様子も時間の経過とともに移り変わっていった。</p>			

<p>⑭岩倉のこれからについて考え、話し合う。</p>	<p>○岩倉はもっと発展していったほうがいいのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからもたくさん家が建った方が学校にも人が増えるいいと思う。 ・自然がなくなると生き物が少なくなるから発展しない方がいいと思う。 ・これから大人になっても地域のことを考えてできることをしていきたいな。 	<p>【関心・意欲・態度②】</p> <p>これからの岩倉について自分とのかかわりを考えようとしている。 (発言・ノート)</p>
-----------------------------	---	---

【板書計画】

